

補助金 **55万円**



テクノストラクチャー ZEH 補助金仕様のご案内

ZEH (ゼッチ)とは?

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」とは、

1年間の消費エネルギーより太陽光発電システムなどによって住宅でつくるエネルギーのほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。消費エネルギーが少ないので光熱費が削減できる上に、今なら補助金55万円が受け取れるチャンスもあります。

一次エネルギー消費量



ゼロエネルギーハウスは光熱費の削減にも

消費エネルギーを抑えたゼロエネルギーハウスは光熱費にもメリットをもたらします。設備の省エネ性能に加え、高い断熱仕様によって冷暖房費を削減。さらに太陽光発電でつくった電気が余れば、売電収入も得ることができます。

※当シミュレーション及び建築は、光熱費について、「仮想的な設備環境を想定した上でソフトを用いて計算した結果」です。建物の設備仕様、開閉、ライフスタイル等によって光熱費は変わります。示された光熱費が保証されるものではありませんので、ご了承ください。また、周辺敷地の建物による影響は加味されていません。

【光熱費比較(円/年)】



<計算条件>◎地域区分:B地域◎間取り:4LDK延床面積128.00㎡◎使用プログラム:(株)FANFARE EnergyZOO「光熱費計算プログラム」【ゼロエネルギーハウス】◎断熱仕様:テクノストラクチャーZEH補助金仕様(UA値=0.56)◎主たる居室の暖冷房設備:ルームエアコン エネルギー消費効率の区分(1)◎その他居室の暖冷房設備:ルームエアコン エネルギー消費効率の区分(1)◎換気設備:ダクト式第一種熱交換機(温度交換効率69%)◎給湯設備:エコキュート(JIS効率3.0)高断熱浴槽 バスの水栓に小流量止水機能を採用◎照明設備:LED◎調理設備:クッキングヒーター◎太陽光発電システム:直下向き4枚勾配の屋根にパナソニック太陽光発電システムHIT2450Plusを24枚(5.88kW)設置◎電気料金:東京電力 スマートライフプラン◎売電単価:31円/kWh ◎発電量は、平均日射量データとしてNEDO(財)日本気象協会「日射量データ作成調査」の値を用い、システムの自己消費電力が変動すると、金額換算値も変わります。各損失を考慮して算出したものです。また、発電量の金額換算も記載の単価で算出したものであり、気象条件や設置条件、電力単価等により、実際の発電量、発電金額と異なる場合があります。目安としてご参照ください。局や積雪の影響は考慮していませんので、ご了承ください。【従来の住宅】◎断熱仕様:平成4年省エネ基準に適合(UA値=0.87)暖冷房設備:ルームエアコン エネルギー消費効率区分(1)◎換気設備:天井付式第一種熱交換機◎給湯設備:ガス給湯器 JIS効率90% 高断熱浴槽◎照明設備:白熱灯以外◎調理設備:ガスコンロ◎電気料金:東京電力従量電打B◎ガス料金:東京ガス 一般契約料金◎水

テクノストラクチャーZEHの特徴

テクノストラクチャーのZEHは、単に消費エネルギーを太陽光発電で補うのではなく、家自体の性能を高め、消費エネルギーをしっかりと削減します。それによって、少ない太陽光発電量でもZEHが可能に。建ててからでは変えにくい断熱性能を建築時に高めておくことで、将来に続くゼロエネを実現でき、また、将来電気料金が高騰しても、消費エネルギーの小さいテクノストラクチャーのZEHなら家計への影響が少なく安心です。

高い断熱性能



優れた断熱性能により、冷暖房にかかるエネルギーをカット。

高い省エネルギー性能



省エネ性、節湯性の高い設備で、毎日の暮らしで使うエネルギーを削減。

5.88kW[※]の太陽光発電システム

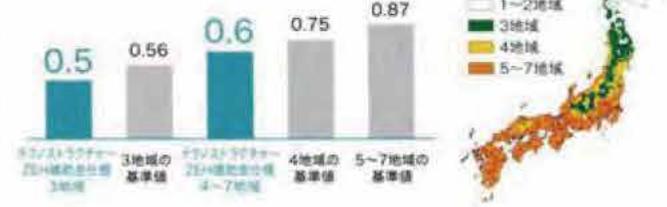


太陽の光をエネルギーに変換して、消費エネルギーを超えるエネルギーをつくります。

※3、4地域は6.86kWが標準仕様です。

ZEHを支える高い断熱性能

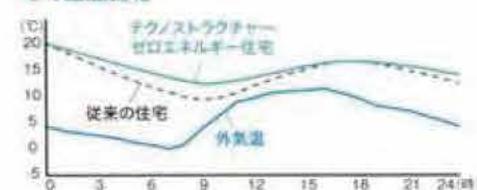
高い断熱性のテクノストラクチャーZEHは、住まい全体から逃げる熱量を表す外皮平均熱貫流率(UA値)において、省エネルギー基準を大きく上回る性能を保有しています。



高い断熱性能で住まいを快適に

断熱性能が高い住まいは保温性が高く、外気温の変化を受けにくくなります。エアコンを切っても快適な温度がある程度保たれるので、体への負担が減り、快適性がぐっとアップします。

冬の室温変化



当シミュレーションは、室内温度について、「仮想的な環境を想定した上でソフトを用いて計算した結果」です。示された室温が保証されるものではありませんので、ご了承ください。<計算条件>◎地域区分:B地域◎間取り:4LDK 延床面積128.00㎡◎使用プログラム:(株)FANFARE EnergyZOO「室温シミュレーター」◎断熱仕様:【ゼロエネルギー住宅】テクノストラクチャーZEH補助金仕様(Q値=2.09)【従来の住宅】平成4年省エネ基準に適合(Q値=3.21)

パナソニックの高効率省エネルギー設備

太陽光発電システム

わが家で作ったエネルギーをわが家で使い、余ったエネルギーは売電します。



蓄電池で毎日の節約と非常時への備えを

自宅に蓄電池があれば、万が一の停電時にも電気を使えます。また、安い深夜電力を溜めて電気代の高い時間帯に使うことで毎日の節約に役立ちます。

Option
オプション



リチウムイオン蓄電池ユニット (5.0kWh) 屋内用

パワーステーション(屋外用)

断熱性能を高める 複層樹脂サッシ

壁の断熱性能を高めるだけでなく、高い断熱効果を発揮するサッシを採用。窓まわりのカビや汚れの原因となる結露も大幅に軽減します。



地域の特性に合った換気システム

給気と排気を機械で行い、住まい全体をよどみなく換気する第1種換気が標準仕様。更に熱交換システムの採用で、換気による外気温の影響を減らすこともできます。地域の気候やご要望に合わせて2種類からお選びいただけます。



パイプファンエアテクトタイプ
or
ココチーシステム
(1F熱交+2F熱交タイプ)

長寿命で省エネなLED照明

省エネ・長寿命なLED照明を全室に採用。更に調光機能でエネルギーを削減します。



温冷感センサー付きリビングエアコン 【Xシリーズ】

エコナビがすばやく人の居場所を見つけ、ムダなくしっかり温風を届けます。



エネルギーをモニタリングするHEMS

住まいで使用しているエネルギーが見えるHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)。パナソニックのスマートHEMSなら様々な機器をコントロールすることもできます。



注)・上記は概念図であり実際の機器構成ではありません。
・掲載写真の画面は、はめ込み合成です。実際の画面とは異なる場合がございます。
・AISEGの画面は宅外から見ることはできません。

高断熱浴槽 + 手元止水付きシャワーヘッド

断熱材で被った浴槽を採用することで、お湯が冷めにくく、お湯をつくるエネルギーを削減できます。



※断熱材のイラストはイメージです。実際の色とは異なります。

Oflora オフロラ

手元で出し止めできる一時止水ボタンで、シャワーの出しっぱなしを防ぎます。



※プランによって標準仕様ではない場合があります。

空気のお湯でお湯を沸かす エコキュート

エネルギー削減だけでなく、深夜電力を利用することで、光熱費の削減にも。



お湯の無駄遣いを減らす水栓

レバー中央部を水のみが出る設定にすることで、知らない間に使ってしまうお湯の使用を防ぎます。

※プランによって標準仕様ではない場合があります。

キッチン

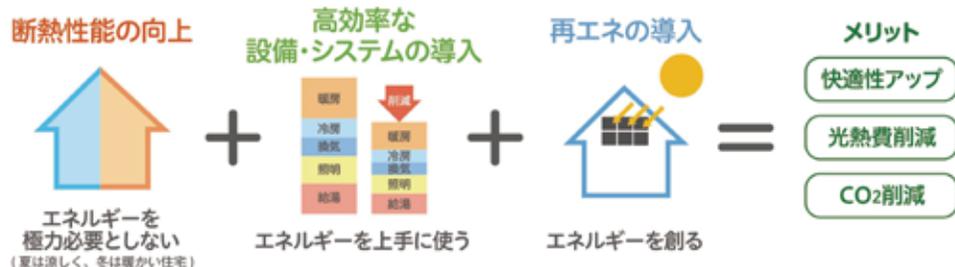


洗面化粧台



ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) とは

外皮の断熱性能の大幅な向上と、高効率な設備・システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネを実現(省エネ基準比20%以上)。その上で、再エネを導入して、年間の一次エネルギーの収支をゼロとすることを旨とした住宅をZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)といいます。



新築戸建住宅を建築・購入等する個人が対象の補助事業

※新築住宅の販売者となる法人を対象とする補助事業を含む

1

ゼッチ ZEH支援事業

(P3参照)

申請対象者

- ・新築戸建住宅を建築・購入する個人
- ・新築戸建住宅の販売者となる法人

対象となる住宅

ZEH

補助額 ※

55万円/戸 + α

対象となる住宅

ZEH+

補助額 ※

100万円/戸 + α

2024年の ZEH補助金

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス



新築集合住宅を開発する事業者等が対象の補助事業

2

ゼッチ・マンション 高層ZEH-M支援事業

(P5参照)

対象となる住棟

住宅用途部分が6層～20層のZEH-M

補助額 ※

- ・補助対象経費の1/3以内
- ・上限3億円/年、8億円/事業、50万円/戸、補助事業の費用対効果

*事業期間は最長4年とする

3

ゼッチ・マンション 中層ZEH-M支援事業

(P5参照)

対象となる住棟

住宅用途部分が4層～5層のZEH-M

補助額 ※

- ・補助対象経費の1/3以内
- ・上限3億円/年、8億円/事業、50万円/戸、補助事業の費用対効果

*事業期間は最長4年とする

4

ゼッチ・マンション 低層ZEH-M促進事業

(P6参照)

対象となる住棟

住宅用途部分が1層～3層のZEH-M

補助額 ※

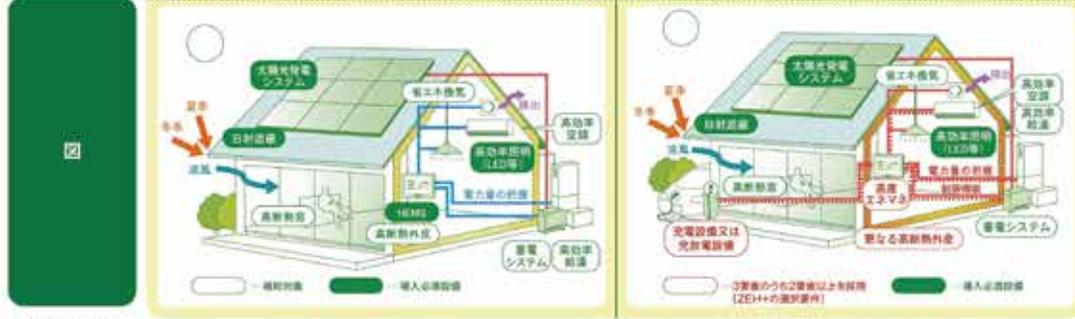
- ・40万円/戸
- ・上限3億円/年、6億円/事業

*事業期間は最長3年とする

※ZEH、ZEH+又はZEH-Mの要件を満たした住宅に、蓄電システム、直交集成板 (CLT)、地中熱ヒートポンプ・システム、PVTシステム、液体集熱式太陽熱利用システム等を導入する場合、補助額を加算します。

各補助事業の主なポイント

区分	ZEH	ZEH+
申請対象者	・新築住宅を建築・購入する個人	・新築住宅の販売者となる法人
対象となる住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・「ZEH」 ・Nearly ZEH (寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る) ・ZEH Oriented (都市部狭小地等の二階建以上及び多雪地域に限る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ZEH+」 ・Nearly ZEH+ (寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)
交付要件の主なポイント	<ul style="list-style-type: none"> ① 戸建住宅における「ZEH」の定義を満たしていること ② SIIに登録されているZEHビルダー/プランナーが関与(建築、設計又は販売)する住宅であること 	<ul style="list-style-type: none"> ① 戸建住宅における「ZEH」の定義を満たし、かつ、以下のIとIIを満たすこと <ul style="list-style-type: none"> I 更なる省エネルギーの実現 (省エネ基準から25%以上の一次エネルギー消費量削減) II 以下の再生可能エネルギーの自家消費拡大措置のうち2つ以上を導入すること <ul style="list-style-type: none"> ① 外皮性能の更なる強化 ② 高度エネルギーマネジメント ③ 電気自動車(PHV車を含む)を活用した自家消費の拡大措置のための充電設備又は充放電設備 ② SIIに登録されているZEHビルダー/プランナーが関与(建築、設計又は販売)する住宅であること
補助額	55万円/戸 追加補助についてはP4を参照	100万円/戸 追加補助についてはP4を参照
公募方法	先着方式 一般公募及び新規取組公募に分けて実施する	



<ZEHの定義>
[ZEH] 以下の①～③の全てに適合した住宅
 ① 強化外皮基準(1～6地域)の平成20年省エネルギー基準(省エネ率、省エネ率・省エネ率の確保等の留意事項)を満たした上で、1～6地域0.40[W/m²K]以下、3地域0.50[W/m²K]以下、4～7地域0.60[W/m²K]以下 ② 再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量が20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③ 再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から100%以上の一次エネルギー消費量削減
 ※エネルギーに係る措置については所有者と関わり、当該住宅の敷地内に設置されるものとする

Nearly ZEH 以下の①～③の全てに適合した住宅
 ① 強化外皮基準(1～6地域)の平成20年省エネルギー基準(省エネ率、省エネ率・省エネ率の確保等の留意事項)を満たした上で、1～6地域0.40[W/m²K]以下、3地域0.50[W/m²K]以下、4～7地域0.60[W/m²K]以下 ② 再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量が50%以上の一次エネルギー消費量削減 ③ 再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から75%以上の100%未満の一次エネルギー消費量削減
 ※エネルギーに係る措置については所有者と関わり、当該住宅の敷地内に設置されるものとする

ZEH Oriented 以下の①、②に適合した住宅
 ① 強化外皮基準(1～6地域)の平成20年省エネルギー基準(省エネ率、省エネ率・省エネ率の確保等の留意事項)を満たした上で、1～6地域0.40[W/m²K]以下、3地域0.50[W/m²K]以下、4～7地域0.60[W/m²K]以下 ② 再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量が20%以上の一次エネルギー消費量削減
 ※再生可能エネルギー等導入でも可
 ※エネルギーに係る措置については所有者と関わり、当該住宅の敷地内に設置されるものとする
 ※都市部狭小地等(主要駅前副都心の付帯となる周辺地域等)第一種及び第二種低層住宅専用地域、第一種及び第二種中高層住宅専用地域並びに地方自治体の条例において建築材料使用が定められている地域等において、敷地面積が85%未満である土地、ただし、住宅が平屋建ての場合は除く)等に建設された住宅に限る

ZEH+の追加補助額及び選択要件

ZEHの種別	補助金	ZEH+の選択要件	ハイグレード仕様補助金
ZEH+	定額: 100万円/戸	① 外皮性能の更なる強化 + ② 高度エネルギーマネジメント + ③ 電気自動車を活用した自家消費の拡大措置	25万円/戸 加算後: 定額125万円/戸
		① 外皮性能の更なる強化 + ② 高度エネルギーマネジメント	10万円/戸 加算後: 定額110万円/戸
		① 外皮性能の更なる強化 + ③ 電気自動車を活用した自家消費の拡大措置	

ハイグレード仕様 断熱等性能等級6以上の外皮性能を有し、かつ設計一次エネルギー消費量(再生可能エネルギー等を除く)が基準一次エネルギー消費量から30%以上削減した住宅。

ZEH及びZEH+における追加設備等による加算

追加補助対象設備	追加補助額
蓄電システム	上限20万円
直交流成板(CLT)	定額90万円
地中熱ヒートポンプ・システム	定額90万円
PVTシステム	65万円、80万円、90万円 (注)方式、パネル面積により異なる
液体集熱式太陽熱利用システム	12万円、15万円 (注)パネル面積により異なる

登録制度について ZEHビルダー/プランナーとは

2030年ZEH普及目標の実現に向けて、2025年度の自社ZEH受注目標50%以上(又は75%以上)を掲げるハウスメーカー、工務店、建築設計事務所、建売住宅販売事業者等を公募、登録、公表いたします。

ZEH builder (ZEH-000000-CY) **ZEH planner** (ZEH-000000-CT)

ZEHビルダー/プランナーに関する詳細はSIIホームページをご覧ください。
<https://zehweb.jp/registration/builder/public.html>

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ZEHビルダー/プランナー登録(フェーズ2)	実績報告期間 4/8～6/28											
	●第1回公表 5/31 ●第2回公表 6/28											
ZEHビルダー/プランナー登録(フェーズ2)	4/12まで											
	●第1回公表 4/25											
ZEHビルダー/プランナー登録(フェーズ2)	5/17まで											
	●第2回公表 5/31											
●第3回以降 公表スケジュールはSIIのホームページをご確認ください												

ZEHビルダー／プランナー 実績報告書

1. ZEHビルダー／プランナー情報

ZEHビルダー／プランナー登録番号	ZEH28B-02983-CTR
事業所名	丸勝建築株式会社

2. 実績報告 <一部公表>公表については割合のみ行い、件、軒、戸数は非公表となります。

注文…新築注文戸建住宅 建売…新築建売戸建住宅 既存改修…既存戸建住宅の改修

			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度
			実績	普及目標							
			割合(%)								
ZEH	『ZEH』	注文	0	0	0	0	0	0	0	0	40
		建売	0	0	0	0	0	0	0	0	10
		既存改修	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	50
	Nearly ZEH	注文	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		建売	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		既存改修	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ZEH Oriented (都市部狭小地に限る)	注文				0	0	0	0	0	0
		建売				0	0	0	0	0	0
		既存改修				0	0	0	0	0	
		合計				0	0	0	0	0	0
	ZEHシリーズ の合計	注文	0	0	0	0	0	0	0	0	40
		建売	0	0	0	0	0	0	0	0	10
		既存改修	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	50
その他	その他の一般住宅	注文	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
		建売	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
		既存改修	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
		合計	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
既存改修	『ZEH』										
	Nearly ZEH										
	ZEH Oriented										
	ZEHシリーズの合計										